



身近なテーマで、人権問題について考えるコーナーです。

第14回

「はーと&はーと」 絵本原作コンクール

あなたも心にひびく絵本の原作を書いてみませんか



大阪市教育委員会では、子どもと大人と一緒に読み、考え、話し合うことのできる、「人権」をテーマにした絵本の原作を募集します。

あなたの経験や思い、子どもたちに伝えたいこと、一緒に考えたいことをストーリーにしてお送りください。優秀賞作品には、絵本作家の方が絵をつけて、1冊の「はーと&はーと」絵本として制作し、市内小学校や各図書館などに配布します。

「はーと&はーと」絵本ホームページ

テーマ

- 生活の中で知らず知らずに刷り込まれてしまいがちな固定観念や偏見に気付くことができるもの。
- 又は「自分を大切にすること」いった「自己肯定感」を感じることができるもの。
- 主な対象は、小学校低学年の子どもです。

応募規定

- 本文の文字数は、400字詰め原稿用紙3～4枚程度、1,600字を限度とします。
- 以下の点について、おおよその考慮に入れてください。
 - * 絵本は、本文28ページ見開き1場面として14場面で構成します。
 - * 点字つき絵本としても制作するため、点字レイアウトの関係で、文字数が多い場面については、推敲により文字数を減らしていただく場合があります。
- 原稿用紙は、A4サイズの用紙を使用してください。
- 文字数に題名は含まず、縦書き・横書き可。手書き、パソコン、ワープロ原稿ともに可。
- 応募原稿には、通し番号(ページ)をふってください。
- 応募原稿には、以下の(1)～(8)の必要事項を明記した表紙をつけてください。
 - (1) 題名 (2) 字数 (3) 郵便番号、住所 (4) 名前 (5) 年齢 (6) 連絡先の電話番号 (7) コンクールを知ったきっかけ (8) 作品に込めた想い(200字程度)
- ※ 作品はホッチキスやのり等で綴じないで、クリップ留めか、そのまま封筒に入れて送付してください。

応募資格

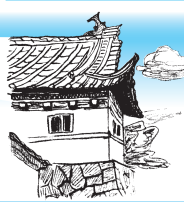
- プロ・アマは問いません。グループ等の共同制作も可能とします。
- 作品は自作で未発表のもの、1人1編に限りです。

締切

平成23年8月12日(金)必着

問合せ・応募先

〒530-8201 北区中之島1-3-20
大阪市教育委員会事務局生涯学習部
「はーと&はーと」絵本原作コンクール担当
電話 06-6208-9086 FAX 06-6202-7054



おおさか歴史探訪 ④7

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

中島大水道 —農民が力を合わせておこなった治水事業—

6月後半になると、梅雨の長雨が気になります。大阪平野の北を流れる淀川は頻繁に氾濫を繰り返し、流域住民に甚大な被害を及ぼしてきました。今回は地域住民が団結して治水事業にあたった、「中島大水道」の掘削のお話です。

明治期につけ替えがおこなわれる以前の旧淀川の北側地域(東淀川区から西淀川区にかけての一带)は低湿地が多く、洪水の後はいつまでも悪水が溜まった状態が続き、農作物をつくることができず、農民は困窮を極める状況でした。そこでこの地域の22ヶ村の農民は、延宝2年(1674)と同4年、排水路の掘削を幕府に申し出ますが、公費による工事は認められず、しかたなく申請者の農民が200両という莫大な費用を負担しておこなうことになりました。排水路は幅は9mから24mほど、距離は9km以上に及びます。延宝6年(1678)、農民は団結して工事にあたり、50日ほどで開通したといわれます。この排水路が完成したことにより安定した農耕が可能となり、生産高は大幅に増加しましたが、一方で水路の修復や維持費は農民が負担しなければならず、苦しい生活は続いたといえます。

この工事では、指導的立場にあった3人の庄屋が「3義人」として称えられ、農民の意向を認めない幕府に対して死をもって抗議したといったいくつかの伝説を残しています。多くの農民の意思を自覚して献身的に奔走した庄屋や、困難な工事に一致団結してあたった農民の姿など、先人の功績が偲ばれます。中島大水道は現在は埋め立てられていますが、起点となった東淀川区西淡路5丁目の新太郎松樋に史跡顕彰碑が建てられています。

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

